

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月15日

計画の名称	雫石町宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	雫石町												
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査を実施し、大規模盛土造成地マップを作成、公表することにより、町民の防災意識の向上を図り、町の安全、安心なまちづくりに寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R2末)
1	大規模盛土造成地の変動予測調査を実施し、大規模盛土造成地の位置及び規模を把握する。 大規模盛土造成地の抽出 調査実施面積 / 調査対象面積 [0.08?]	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	雫石町	直接	雫石町	-	-	雫石町宅地耐震化推進事業(防災・安全)	造成年代調査、優先度評価等	雫石町						5	-	
											小計						5		
											合計						5		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 令和2年4月23日～令和2年10月30日
業者委託（国際航業株式会社盛岡支店）し、業務内容として（1）計画準備（2）資料収集・整理（3）現地踏査（4）宅地カルテ作成（5）解析モデル作成（6）現況地盤分析（地盤崩壊）（7）報告書作成（8）打合せ協議を実施した。	公表の方法 雫石町ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	現地踏査の結果、地下水位が高いことをうかがわせるような現象は見られず、大規模盛土内や地山との境界部には段差を伴うような顕著な変動は確認されなかった。 地盤の分析結果では、常時、地震時の安全率は目標安全率を上回っており、安全率が1を下回るケースは確認されなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし
特記事項（今後の方針等）	
滑動崩落防止事業は必要なしとの判断になったため事業完了	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	1%